

令和4年度 第7回理事会議事録

- 1 日 時 令和5年2月14日(火) 午後3時～5時30分
- 2 方 法 会場(ホテルプラム)とオンライン(Zoom)による会議
- 3 出席者 理事13名、監事2名、顧問2名
(うち理事9名、監事2名、顧問1名はオンライン参加)
- 4 進 行 議長(会長)

5 協議事項

(1) 第2回定期総会について

事務局より資料1について説明を行い、協議を行った結果、令和5年度事業計画書及び令和5年度予算書については案のとおり定期総会に諮ることとし、日精協神奈川県支部総会における臨時社員総会報告は坂井理事が行うこととなった。

(2) 各種委員の推薦について

「横浜市こころの健康相談センター嘱託医師(判定業務)」は、前回理事会で決定した佐伯理事の推薦に加えて、協議の結果、馬場理事、横浜相原病院藤渡辰馬院長を推薦することとし、他1名の医師については調整していくこととなった。(その後の調整で、横浜舞岡病院遠藤桂子副院長を推薦することとなった。)

「川崎市総合リハビリテーション推進センター精神保健福祉判定医」は、前回理事会で決定した各医師の推薦に加えて、協議の結果、栗田病院竹林院長を第3金曜日も推薦することとなった。

「川崎市精神保健福祉審議会委員」は、協議の結果、引き続き武田理事を推薦することとなった。

「生活保護法関係嘱託医」は、協議の結果、引き続き坂井理事を推薦することとなった。

「厚木市障害者協議会委員」は、協議の結果、引き続き増田理事を代表者会議委員に清川遠寿病院渡辺事務次長を実務者会議委員に推薦することとなった。

「茅ヶ崎市公務災害補償等認定委員会委員」は、協議の結果、けやきの森病院田村紀郎診療課長を推薦することとなった。

「神奈川県精神保健福祉協会役員」は、協議の結果、依頼文書を提出してもらうよう回答することとなった。

(3) 協会創立60周年記念事業について

事務局より資料3について説明を行い、協議を行った結果、60周年記念式典(11月15日(水))の開催場所については、人員、料理代金等見積条件を合わせて引き続き次回理事会で協議することとなり、来賓については、県知事、神奈川県医師会、東京都精神科病院協会、県病院協会、県議会厚生常任委員会委員長(新堀史明:自民党)に出席を依頼することとし、国会議員や各団体などへの出席依頼や記念講演の演者などについては次回理事会で協議することとなった。また、60周年記念誌については、編集担当委員による編集会議の開催結果について山口副会長より報告を行い、記念誌の体裁、寄稿いただく先生について検討を行い、病院紹介の内容を各病院に原稿依頼していくこととし、その他記念誌の内容については編集委員にて3月、4月で相談していくこととなった。

(4) その他

・「第10回成人発達障害支援学会横浜大会」について、協議の結果、後援名義の使用を承認することとなった。

・「神奈川県弁護士会との協議」について、神奈川県弁護士会三瀬弁護士より説明があり、ステッカーを貼ること、当番弁護士の名称、精神保健福祉士や法改正後の退院後生活指導員の役割との重複、精神科医療についての理解度など様々な意見があったことについては神奈川県弁護士会が検討するとのことであった。

6 報告事項

(1) 日精協報告について

資料のとおり、日精協第6回理事会(1/13)について、大野副会長より報告された。
また、2月10日(金)の臨時社員総会について、坂井先生より報告された。

(2) 会員病院の届出事項変更について

資料のとおり、丹沢病院より事務長変更届、福井記念病院より病床数変更届、日野病院より病院名の変更届があったことについて報告された。

(3) 各部長会について

資料のとおり、薬剤部長会、事務長会、看護部長会の第3回研修会の通知について報告された。

(4) 各研修事業について

資料のとおり、精神科看護技術研修会の実施結果について報告された。

(5) 各種会議について

資料のとおり、「第33回かながわ自殺対策会議」「第34回かながわ自殺対策会議(書面開催)」の実施結果について報告された。

(6) 第6回理事会議事録について

議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。

(7) その他

・長谷川吉生監事より、精神科救急における身体合併症患者の対応について報告があった。

・次回理事会は、3月14日(火)に開催することとなった。

以上で、全ての審議を終了し議長は午後5時30分理事会の閉会を告げた。